



Lions Clubs International



LAS
VEGAS

LIONS CLUBS 101ST
INTERNATIONAL CONVENTION
2018

#lcicon

第 101 回国際大会 in ラスベガス
増刊号



06

Juni

M	D	M	D	F	S	S
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

07

Juli

M	D	M	D	F	S	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月28日	羽田空港出発
6月29日	グランドキャニオン観光、大会登録
6月30日	インターナショナルパレード
7月1日	第101回国際大会開会式、ハワイへ移動
7月2日	ハワイ石鐘神社参拝
7月3日	アラモアナライオンズクラブ例会訪問
7月4日	ハワイ出発、一路日本へ
7月5日	羽田空港経由松山空港到着



クラブメンバーより盛大な壮行会で送り出してもらい、いざ！ラスベガスへ出発

2018年6月28日、羽田発。

ロサンゼルスを経由して、ネバダ州ラスベガス、マッカラン国際空港に到着した。時刻は現地時間の20時20分を少し過ぎていた。

一歩外に出ると、ムツとする熱気が体を包んだ。

そう、ここは砂漠の中なのだ。

タクシーで約10分、ホテルに着いた。

数台のチェックカウンターが有る。ここでは各自でやるのだ。

やっとのことでカードキーとルームナンバーを入手した。

私は19階、他の二人は11階だ。

この後、私は一時パニック状態になる。(詳しくは例会で発表)

少し遅い夕食をホテル内で済ませた。私は思わぬ出来事の為、

その晩は中々眠れなかったが、明日からは気合を入れるぞと自分に誓った。

明けて翌日、今日はオプションツアーで、ヘリによるグランドキャニオン半日観光である。早朝6時、リムジンが迎えに来た。マッカラン空港の、ヘリ専用発着場には既に乗客でにぎわっていた。



日本人は我々のみで、私たちは外国人女性3名と6人乗りのヘリである。ヘリは初めてなので、いささか緊張したが上昇後、下界の景色を見ているうちにすっかりリラックスしていた。

越智英明



往路とも片道 45 分間のヘリコプター遊覧飛行で溪谷の奥深くに着陸して、シャンパン付のランチを味わった。帰りはラスベガス大通りまで低空飛行なので街、住宅、山など地形がよくわかった。ここはゴールドラッシュ時代から金、銀、水銀の有数の産地なので自ずと人口も増え、ラスベガス市は現在、約 63 万人との事だ。

さて、わくわくしたヘリ初体験を終え、午後からは MGM グランドホテルにての登録に出かけた。私たちのホテルにも LG 専用デスクが設けられ、期間中はスタッフが常駐しているのでとても助かる。

さっそく車の手配をしてくれた。MGM ホテルはとても広く、大きく内部は各国のメンバーで混雑していた。受付の女性達はとても親切で、思いのほか簡単に進んだ。

ホテル内の食堂はどこも予約でいっぱいだったが、やっとの思いで中華のうまい店でほっとした一刻を過ごせた。

夕方近くのホテルのロビーから噴水ショーを楽しんだ後、バフェスタイルの店で夕食をとった。

一夜明けて愈々パレード当日である。昨日同様ホテル前から専用車にてパレード地点まで送ってもらった。ハッピー姿のメンバー達に会い歓談する。我が国は 70 番目ということで出発は 10 時頃だという。パレードの場所は中心街を外れダウンタウン方面であった。矢張りここではメイン道路の封鎖は無理だったのだと思う。日本からは約 1000 名位の参加と聞いた。パレードが始まり行進していくうちに気付いた。



どうもいつもの年に比べると今一盛り上がりには欠ける。やはりメイン道路を外したせいで一般客が少ないせいだと思った。

昼前に終了し、タクシーをひろってホテルに戻り、同レストランで昼食をとりながら、これからどうしようかということになった。

私はふと目の前の古そうなグラスを見ていて、この近くにアンティークの店がないか、と云うと森下 L がさっそく検索してくれた。

思いがけなく、有ったのだ。驚いたことに森下 L は以前この店を TV で見たというのだ。それは、父子で出張買取り専門の店だというのだ。何度も TV で見た程有名との事だ。

さっそく行ってみようということになり、タクシーをチャーターした。

ドライバーもよく知っていて、最近父親が亡くなった事まで教えてくれた。

何と、店の前には行列が出来ている、けっこう有名なのだ。

店内にはジュエリーとか金、銀の細工ものが多く、絵画や古式銃から日本刀まで所狭しとある。

私は古いグラスがないかと物色していて、ふと高さ 20 cm 位の花瓶を見つけた。一見して古いボヘミアガラスだと思った。手にとって見てみると 10 ドル値引きするというので思わず買ってしまった。

この後ショッピングに出かけ、今夜はラスベガスに来たのだから有名なショーを見ない手はないということで、ホテル ベラッジオ内のオーシアターに出かけ、予約をとった。ここでは有名な水中ショーが年中行われている。

水をテーマにした、アクロバティックなショーで自由自在に水深が変化する巨大プールがその舞台で、水中と上空で繰り広げられる奇想天外な水中パフォーマンスには思わず引き込まれてしまう。

他のショーと比べてもダントツの人気というのもうなずける。

かくして、ラスベガス最後の夜を大いに堪能した次第。

翌日は大会 3 日目の総会が行われる MGM グランドに行った。

今日はジョージ・W ブッシュ元大統領の講演にともないセキュリティが強化されていて、バッグ類の持ち込みは禁止され、早目の入場。そしてその間は会場を出ることも出来ないという。

私たちはしばらく内部の様子を見て、早々にこの思い出の詰ったラスベガスを後に空港へと向かった。



森下雄一

“トラベル”とは、“トラブル”が語源らしいよ。(by 越智英明L)

今回の旅行でこの言葉が深く胸に染み込んだ。

言葉と文化の壁は、私達の前に予想以上に立ちはだかった。あまりにも暑いラスベガスの気候と、自分の英語能力の低さに少しストレスを感じつつも、なるべく早めの行動をとることによって、安全・安心を確保することにした。そのためマッカラン空港には、搭乗5時間前には到着し、空港内でゆっくりすることにした。

案の定、自動チェックカウンターで早速困っていたが、すぐさまユナイテッド航空の係員が助けてくれ、何とかチケットは手に入った。

しかし、チェックカウンターに行くと、もう一度自動チェックカウンターに戻された。キャリーのタグを受け取っていなかったのだ。また、あの忌々しい機械を使うことになった。何とか操作し、最後に私達のキャリーの重量を測った時、画面に\$400の追加請求が出た。「何故だ！おかしい！」・・・しかし、やはり私はもう疲れ果てていた。

「金で済まそう。」

支払いを済ませ、タグを持ってカウンターに戻るや否や係員から大笑いされた。その後、マネージャーらしき“おば様”に払い戻しをして貰い、私は言った。

「サンキュー ベリー マッチ」

少しばかりの安堵感の中、後はサンフランシスコに行き、乗り換えれば「常夏の島 ハワイ」だ。」と言い聞かせながら軽い昼食を摂った。

・・・その先に落とし穴があるとも気付かずに・・・。

越智Lと寺川Lと私は、とても気が合った。話をし出したら止まらない。ジェネレーションギャップがない。

時間には余裕があった。しかし、乗り遅れてしまった。

話に夢中になり、アナウンスさえ気付かず、私達が乗るはずだった“サンフランシスコ行”は飛び去ってしまった。

呆然とする私達を見つけ、またあの払い戻しをしてくれたマネージャーらしき“おば様”が駆けつけてくれた。

そして、ハワイアン航空の“ホノルル行”に変更をしてくれたのだ。

私は言った。「サンキュー、サンキュー、サンキュー！！」

この後も多少のトラブルはあったが、これ以上書く気がしない・・・。

次は“常夏の島 ハワイ”

当初の予定より数十分遅れでホノルルに到着した。

サンフランシスコ経由でホノルル入りした私達のキャリーバックも、無事手元に戻った。時刻はPM10:00を過ぎており、涼しい穏やかな気候が私達を歓迎してくれた。

明日は、ハワイ 石鎚神社の参拝だ。

私達は、閉店間際の焼肉屋で暫し歓談の後、眠りについた。



7月2日

私達はホテルでゆっくりとした後に、ハワイ 石鐘神社へと向かうことにした。

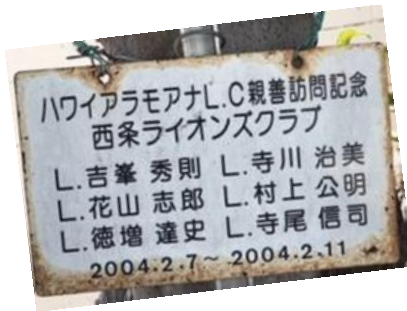
石鐘神社へは寺川Lの提案で、自転車をレンタルして行くこととなった。

寺川L、越智L、そして私の並びで自転車をこぎ出した。

間もなく、寺川Lが私達をぶっちぎって行ってしまった。しばらく走ると、前を走る越智Lの様子が少しおかしい。寺川Lは速すぎるが、逆に越智Lは遅すぎる。後で聞くと、かなり久しぶりの自転車だったらしい。しかし私ですら3年ぶりなのだ。何とか必死になって寺川Lを追いかけっていると、あっという間に神社に到着した。

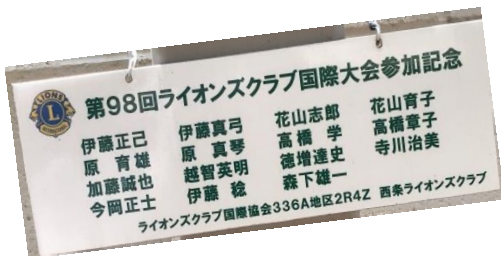
景色を楽しむ間もなかった。

私達は参拝を済ませ、今回のハワイ訪問の目的の一つである植樹を視察した。



ハワイアラモアナL.C親善訪問記念(2004.2.7~2004.2.11)の植樹は、6mを超える大木に育ち、第98回ライオンズクラブ国際大会参加記念の植樹も2mは優に超える木に育っていた。越智L、寺川Lはその姿を見て、顔がとてもほころんでいた。

二人は、木の成長を西条ライオンズクラブの歴史に移し変えて見ていたのではないかと思う。そして、その確実にたくましい成長を喜んでいたのである。とても素敵だ!!



この旅で起こったトラブルの全てが、その瞬間に消し飛んで行った。そして、私もその歴史の中に参加出来ていることにとっても感謝した。・・・と同時に、“継続していかなければならない”と改めて決心させられた。

寺川治美

ハワイ到着3日目になりラスベガス滞在の疲れも少しずつ取れてきました。夜のアラモアナライオンズクラブとの交流会まで予定はないので、午前中はゆっくりとホテルにて、ロシアワールドカップサッカーをテレビ観戦することにしました。前日のベルギー戦の日本敗戦をまだ引きずっていましたが、日本との時差の関係で、日本より一日早く午前中にコロンビア対イングランド戦のライブ中継が見られました。

中継の言葉は解らなくてもサッカーは見るだけで解ります。

どうも中継アナウンサーがスペイン語のようなラテン系のノリで中継しているので、こちらは何となくノリノリ観戦です。常夏のリゾート地ハワイで海にもプールにも行かず、ゆっくりテレビを見て過ごしたのは初めてです。今回のハワイでは透きとおった青い海を全然見ていません。

サッカー観戦の後は食事とショッピングに出かけることにし、日本ではお馴染みですが、ハワイにあるドンキホーテに行ってみることにしました。

アラモアナショッピングセンターと違って高級ブランドショップも高級デパートもなく、ローカルの人達が利用する安くて庶民的な所です。

そこは土産品、電気製品、雑貨、食料品、酒、惣菜、薬等のありとあらゆる物があり見て廻るだけで楽しい所です。日本の品物も沢山あり、惣菜コーナーには日本語の BENTO の文字がごく自然に看板に書かれていました。

昼食は日本をしばらく離れていると、日本食が恋しくなってきた頃に、ドンキホーテの並びに日本のラーメン店「山頭火」がありました。



店内の壁にはトンネルズの木梨憲武が食べ歩きで美味しい所には書いている「PeLe」のマークがあり、間違いなく日本の本格的な味がして美味しかったです。

その後ホテルに帰りアラモアナライオンズクラブのサチコさんと合流し会場へと向いました。会場は小さな中華料理店を貸切にしていました。アラモアナライオンズクラブから18名の参加があり、98回ハワイ国際大会の時に交流した懐かしい人たちとの再会もあり、プレゼントの交換や記念撮影などをして3年ぶりの交流を深めました。

言葉はサチコさんに日本語通訳をして貰えたので不自由もなく大変助かりました。



2001年に姉妹提携を結びハワイの杉野夫妻を中心に17年余り続いてきた、この交流もメンバーの高齢化や当時のメンバーで既に亡くなられた方も居られますが、アラモアナライオンズクラブではサチコさんたち若い世代へと受け継いでいただき、西条ライオンズクラブと末永く姉妹提携が続けられることを確かめ合いました。翌日はアメリカ滞在も終わり帰国です。色々珍道中でしたが、101回ラスベガス国際大会も終わり、今回で私は国際大会の参加は一区切りにして終わりたいと思います。3回のアメリカ開催の国際大会に参加して色々な経験をして、メンバーともより深め合えたことが貴重な財産となりました。

